

プレミアムフライデー ビアストリート

嶋原商店街振興組合

▶担当 木村 裕一

事業目的・背景

長年、当組合では事業をほとんど行わず、組合加盟店も減少が続きました。理事長の交代を機に新しいイベントを通じて、商店街と商店街の店舗のことを地域住民に知っていただき、来街者を増加させることで、商店街と地域の賑わいづくりを図りたいと考えました。

また、非組合員にもイベントへの参加を呼びかけ、組合員の増加にも期待しました。

事業概要

商店街の一部(花屋町通の壬生川通と島原大門の間)を車両通行止めとし、商店街加盟店や協力店が屋台形式で飲食物を提供しました。ビールは商店街が2種類のほか2社のクラフトビールが提供されたほか、焼きそばや唐揚げの定番から出し巻き卵・鱧寿司などの当商店街ならではの商品にも人気がありました。下京青少年活動センターのボランティアの方と商店街アイデア実現プロジェクトで紹介していただいた大道芸人にもお手伝いいただきました。

活動期間

嶋原商店街振興組合としては昭和46年6月10日に設立され、来年50周年を迎えます。それ以前は協同組合として活動していたようです。最盛期には組合員数も70店舗を超えていたように思います。その後廃業される方や脱退されるお店が増え、4年前には11店舗にまで減少していましたが、若い方が起業されたり組合に復帰された方もあり、今では21店舗に回復しました

成果

今年度は8月の開催が大雨の予想で中止となり、9月の一回だけの開催となりましたが、当日は300名以上の方が来られて、地域住民の交流が十分にされたと思います。各ブースの商品の完売も多く、来街者にも組合員にも喜んでいただけたと思います。新しいマップを配布することにより、各店はもとより、島原の歴史的文化的施設や旧跡を紹介することが出来ました。

今後の予定

この事業も3年目を迎え、地域に定着しつつある行事として認められるようになったと思います。来年度もこのイベントを続けていくとともに、多くの方からもっと回数を増やしてほしいなどの声があり、その声に応えるために冬に日本酒のイベントを行いたいと思います。



下京青少年活動センターのボランティアの方にも手伝っていただき、設営準備をしています。テーブルを囲んで地域の方々の交流の場となります。雰囲気づくりに提灯も欠かせません。



多くの来街者で賑わう会場です。老若男女にかかわらず話の花があちらこちらで咲いています。みんなごきげんでニコニコ顔です。



商店街アイデア実現プロジェクトでマッチングしていただいた大道芸人さんのパフォーマンスを食い入るように見入る子どもたちです。写真には写っていませんが、子どもの後ろには多くの大人たちが見ています。